

接触授業再開に関して

2021/9/26

全日本柔拳連盟 会長 地曳 寛子

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い長く中止とせざるを得なかった接触授業について、協議を重ねた結果、**一部の授業で再開**することに致しました。

本来、柔拳は「型」と「技」が両輪と言われております。

一方で、今回の感染症のために、現時点では、距離が近くなることに忌避感を持たれる方もおられます。

残念ながら、感染症の終着点はまだ見えてこない状況で、生徒の皆さん全員が満足する正解はありません。

今回、これらの状況を考え合わせ、別紙の通り、一部授業において接触授業を再開いたします。今後も状況に応じて、また、皆さんの声をお聞きしながら、柔軟に変化していきたいと考えています。

なお、先ほど両輪と申しましたが、今すぐこれをしなくてはならない、ということはありません。

時が来れば挽回できることで、し、「型」を丁寧に正しく身に付けることで、十分に様々な効果がありますし、いずれ再開されたときに、「技」も身につけやすくなります。

ですから、焦らず、ご自身の気持ちに正直に、躊躇いがある場合は無理をせずに、ということが大切です。

疑問点やご意見などがありましたら、いつでも事務局の方にお申し出下さい。